

# ROCKY ROOF CARRIER

## SA-38・39/SA-B10専用 オプションパーツ/アシストローラー取扱い説明書

### 品番 / AR-01

この度は、ロッキールーフキャリアオプションパーツ「AR-01」をお買い上げいただきありがとうございます。常に安全な状態でご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上正しくご使用ください。

尚、販売店にて本製品を取付けられましたら本書を必ずお客様にお渡しください。

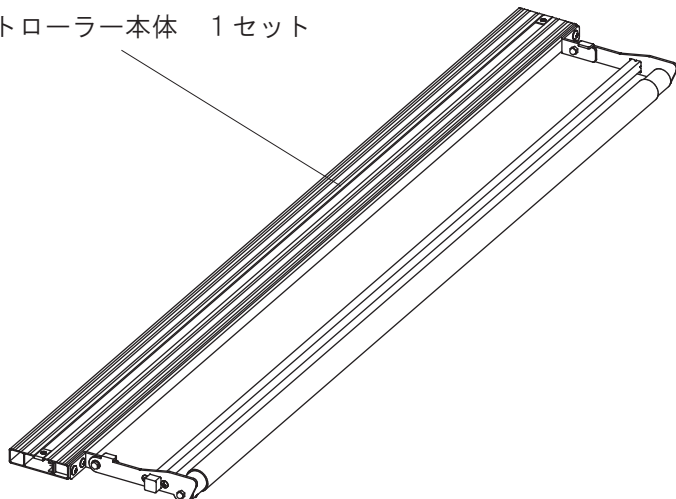
製品(組立て・取付け等)についてご不明な点はお買い求めの販売店又は、弊社までお問い合わせください。誤った組立て、取付け、使用による事故の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

### 構成パーツ

● 構成パーツは、組立てを行う前に必ず数量の確認を行ってください。

(注) ○番号は「AR-01」の取説番号となります。○番号は製品の取説番号となります。

①アシストローラー本体 1セット



②ゴムパッキン 4ヶ



③六角ボルトセットM6 2本



SA-38・39と同時に組立てする場合

2 3 ページ

SA-38・39取付け後にAR-01を取付ける場合

4 5 6 ページ

SA-B10と同時に組立てする場合

7 8 9 ページ

SA-B10取付け後にAR-01を取付ける場合

10 11 12 ページ

**Rocky+** ロッキープラス株式会社

〒463-0025 名古屋守山区元郷2-107 TEL(052)778-7876 FAX(052)778-7718

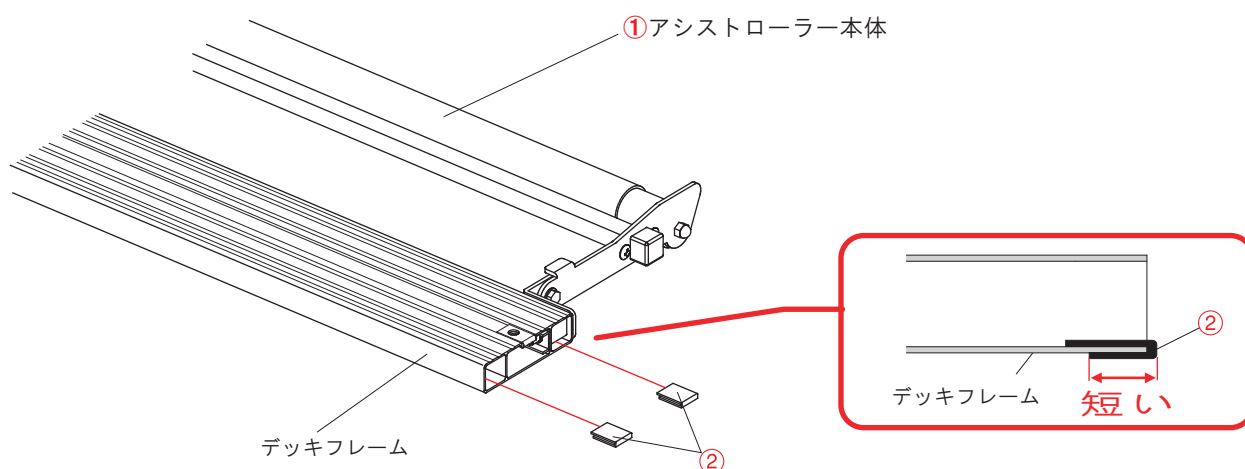
HP <https://www.rocky.ne.jp>

E-mail [rocky@rocky.ne.jp](mailto:rocky@rocky.ne.jp)

## SA-38・39と同時に組立てする場合①

1. ①アシストローラー本体のデッキフレーム両端下面に、②ゴムパッキンをはめます。この時、②ゴムパッキンはベラの短い方が下になるようにしてください。〔図-1〕

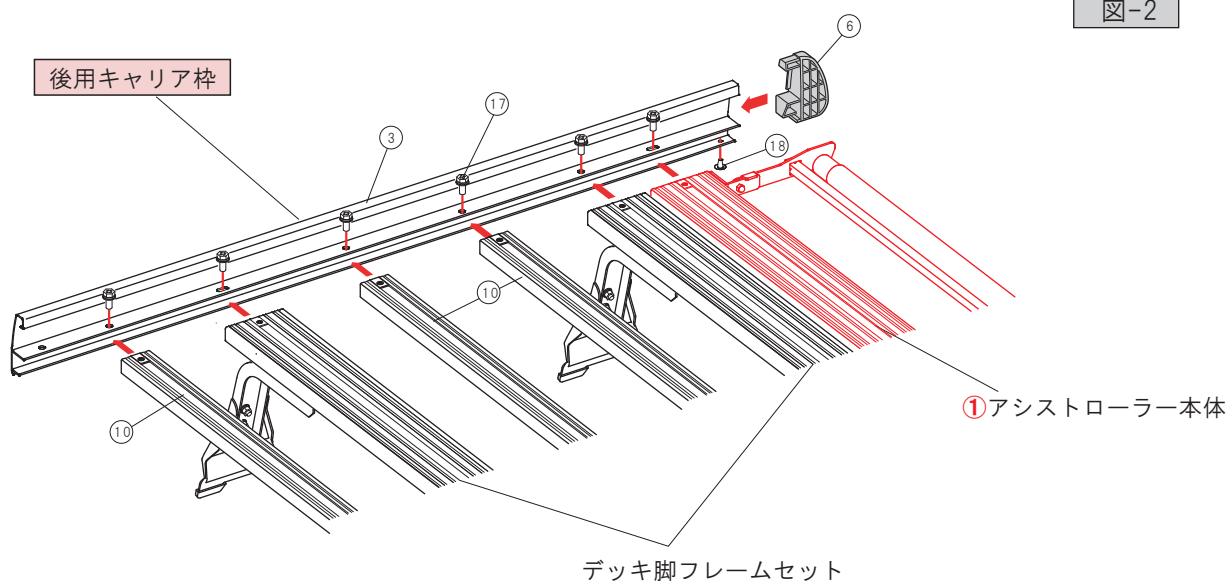
図-1



2. [前用キャリア枠]同様に③④サイドフレーム(後/左右/品番ラベル付)に⑩荷台フレームと「デッキ脚フレームセット」①アシストローラー本体を⑰六角ボルトセットM6にて組付け、③④サイドフレーム後端に⑤⑥先端キャップをはめ込み下から⑱タッピングビス5ミリで固定します。〔図-2〕

△注意 デッキ脚フレーム、①アシストローラー本体に組付けた、②⑮ゴムパッキンは異音防止効果がある為、必ず組付けた状態で③④サイドフレームに差込んでください。硬くて差込み難い場合は②⑮ゴムパッキンとサイドフレームに中性洗剤を塗ると差込みやすくなります。

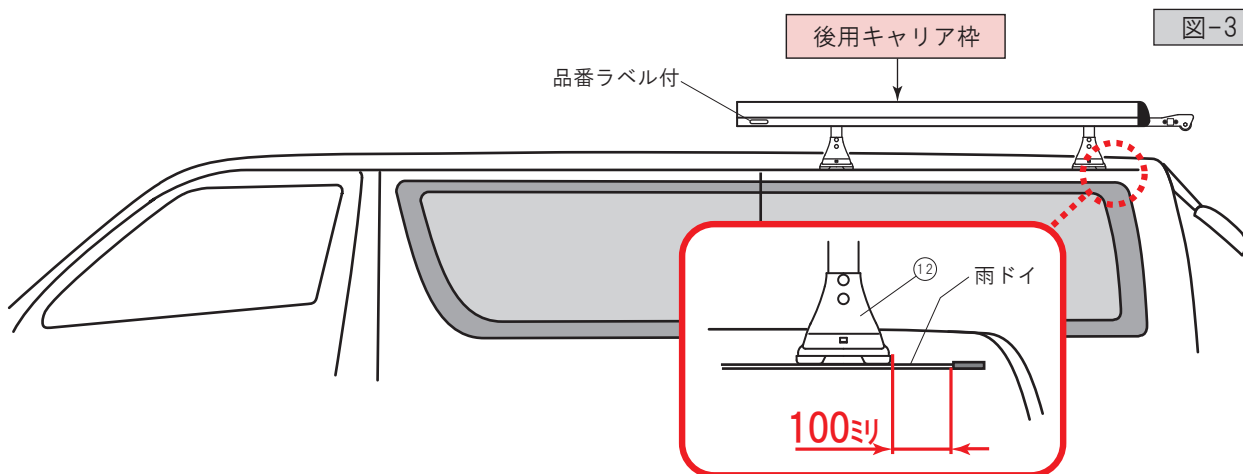
図-2



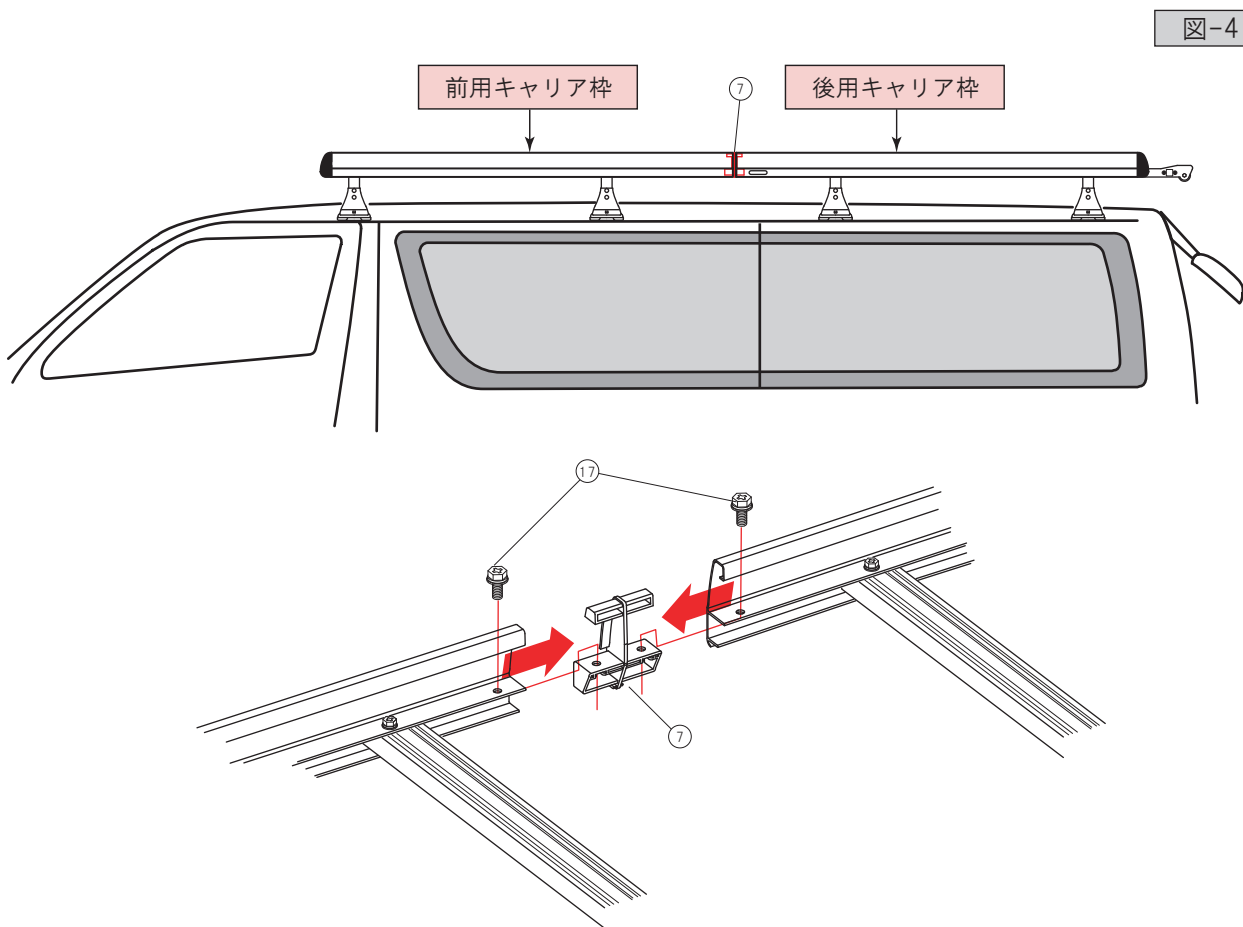
## SA-38・39と同時に組立てする場合②

3. 「組立て方法 2」で組立てた「後用キャリア枠」を車両後方の雨ドイに載せ、雨ドイの後端より前方へ100mmのところ  
に⑫インナークランプの端がくるように調整を行います〔図-3〕  
※解説イラストは「SA-39／標準ボディ・標準ルーフ」用で記載しております。「SA-38／ワイドボディ・ミドルルーフ」  
も同様に取付けを行ってください。

△注意：キャリアを屋根に載せる際は必ず「4人以上」でゆっくりとキズをつけないように慎重に行ってください



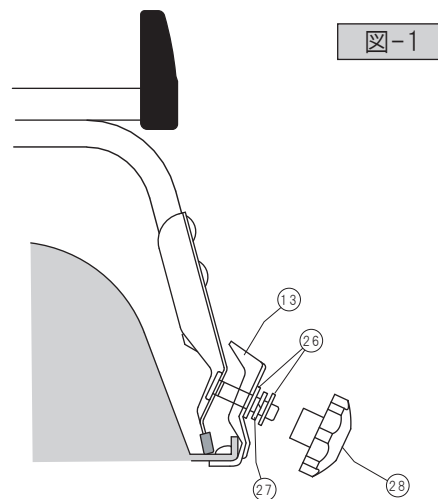
4. 「SA-38・39／取扱い説明書／組立て方法 4」で組立てた「前用キャリア枠」を雨ドイに載せ、⑦中間ジョイントで  
「後用キャリア枠」と繋ぎ合わせ、⑰六角ボルトセットM6で固定します。〔図-4〕



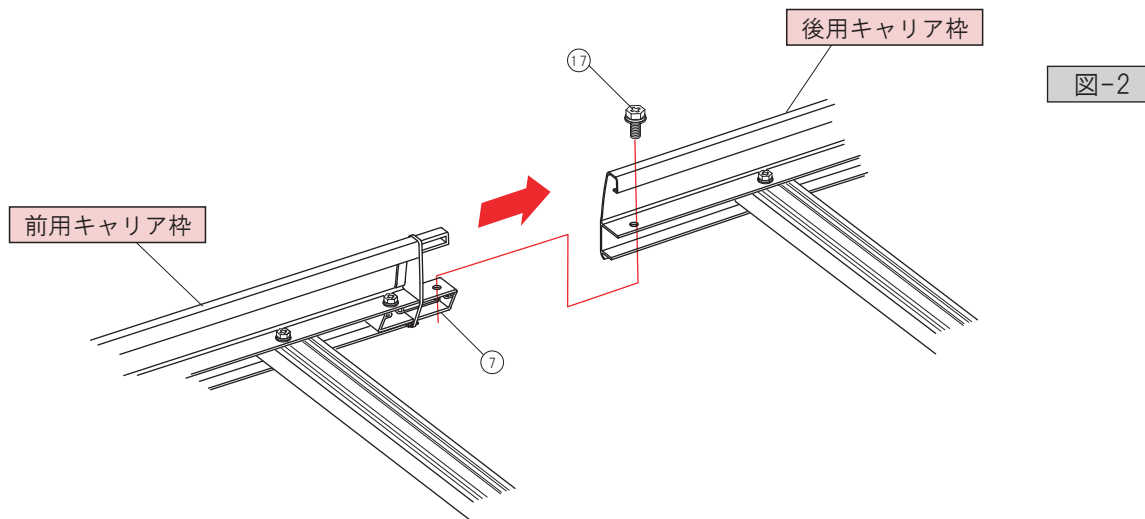
以降は「SA-38・39／取扱い説明書／取付け方法②」の手順に沿って取付けを行ってください。

## SA-38・39取付け後にAR-01を取付ける場合①

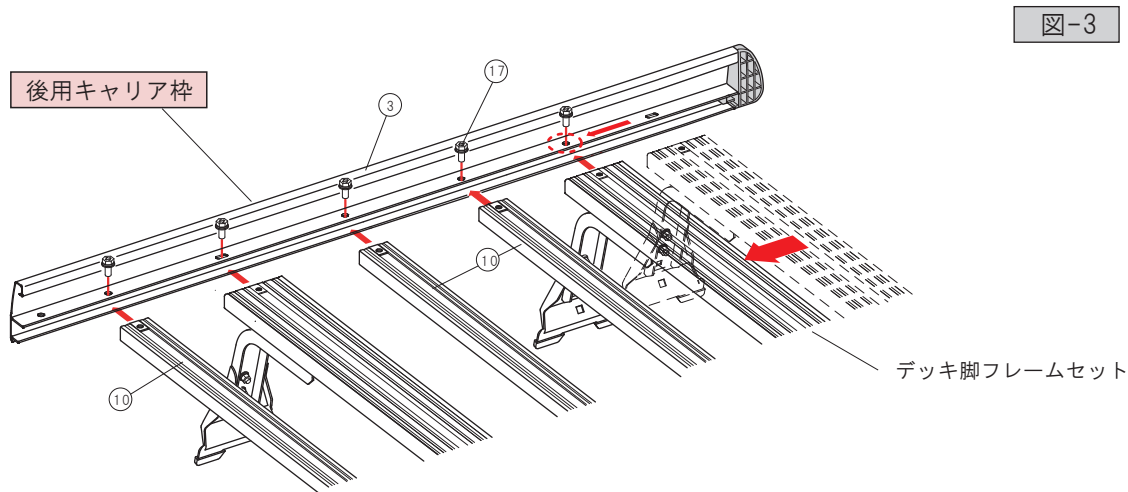
1. キャリアに締付けてある全ての⑳締付ノブ(8か所)を緩め、  
⑬アウタークランプ(ハッキン付)、⑳平座金M8、㉑バネ座金M8、  
を一度取外しておきます。〔図-1〕



2. [前用キャリア枠]と[後用キャリア枠]を連結している、⑦中間ジョイントの[後用キャリア枠]側の  
⑰⊕六角ボルトセットM6を取外します。〔図-2〕

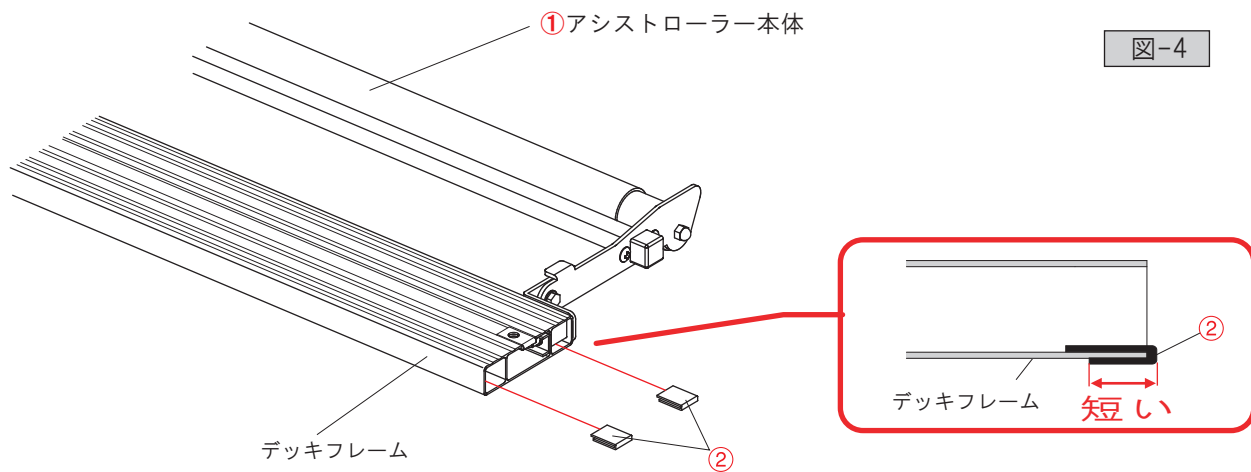


3. [後用キャリア枠]のみ一度車両からゆっくり下します。どちらか片側の③④サイドフレーム(後)に組付けてある  
⑰⊕六角ボルトセットM6を全てを外し、サイドフレームを一度取り外してください。  
そして最後部に組付けてある「デッキ脚フレームセット」は両端の⑰⊕六角ボルトセットM6を外し一つ手前の  
丸穴へ移動させます。〔図-3〕



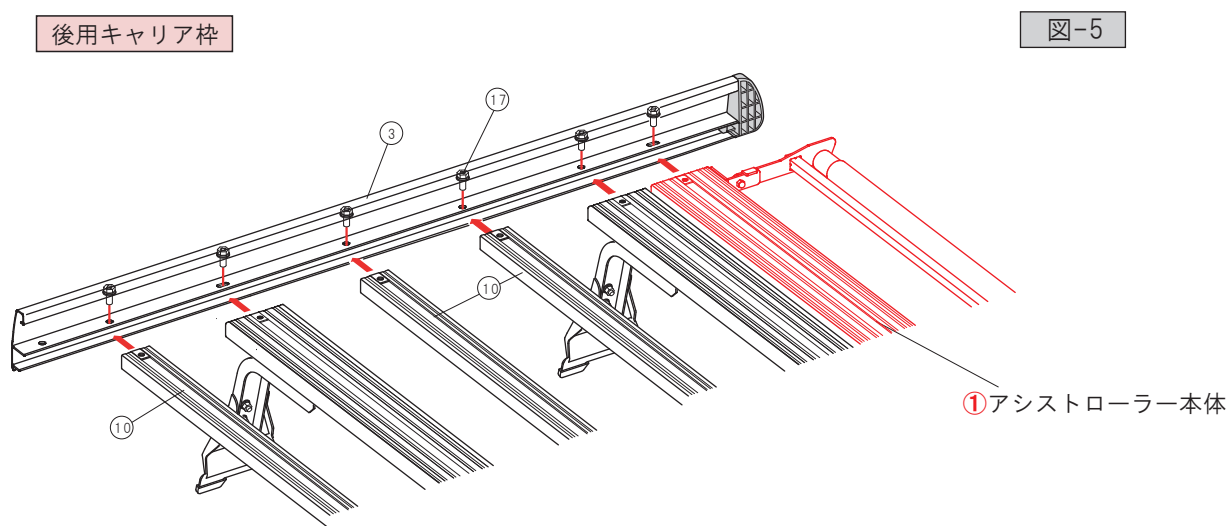
## SA-38・39取付け後にAR-01を取付ける場合②

4. ①アシストローラー本体のデッキフレーム両端下面に②ゴムパッキンをはめます。この時、②ゴムパッキンはベラの短い方が下になるようにしてください。〔図-4〕



5. ③④サイドフレーム(後)の最後部の楕円穴に、①アシストローラー本体を①⑦六角ボルトセットM6にて組付けます。〔図-5〕

△注意 デッキ脚フレーム、①アシストローラー本体に組付けた、②⑮ゴムパッキンは異音防止効果がある為、必ず組付けた状態で③④サイドフレームに差込んでください。硬くて差込み難い場合は②⑮ゴムパッキンとサイドフレームに中性洗剤を塗ると差込みやすくなります。

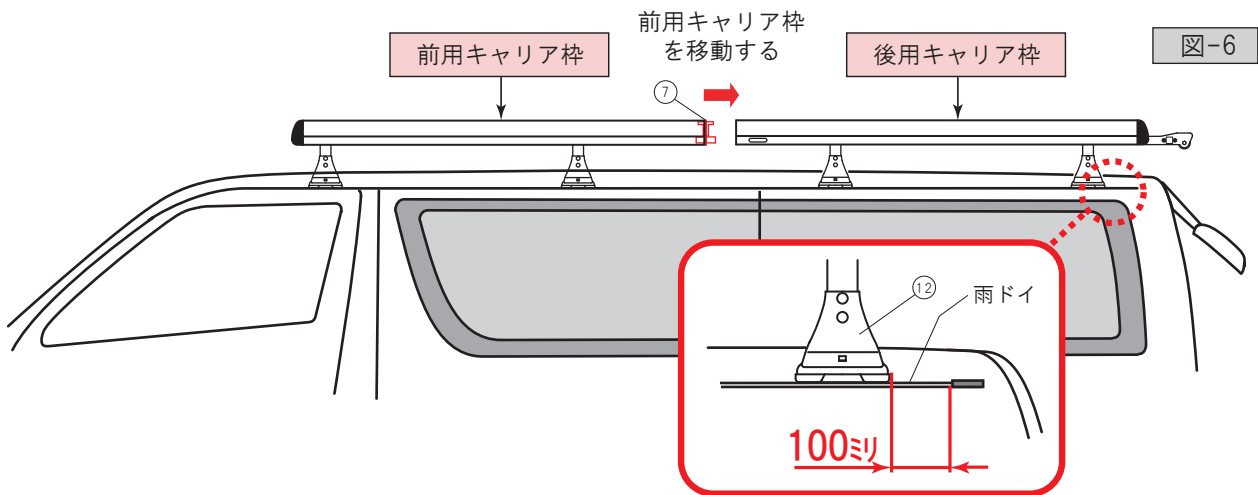


## SA-38・39取付け後にAR-01を取付ける場合③

6. 「後用キャリア枠」を再度車両後方の雨ドイに載せ、雨ドイの後端より前方へ100ミリのところに⑫インナークランプの端がくるように調整を行います〔図-6〕  
 この時、「後用キャリア枠」は初めに取付けてあった位置より「100ミリ程」 「後」に移動しております。  
 「前用キャリア枠」を「100ミリ程」 「後」に移動して⑦中間ジョイントにて「後用キャリア枠」と繋ぎ合わせ、⑰Ⓧ六角ボルトセットM6で固定します。

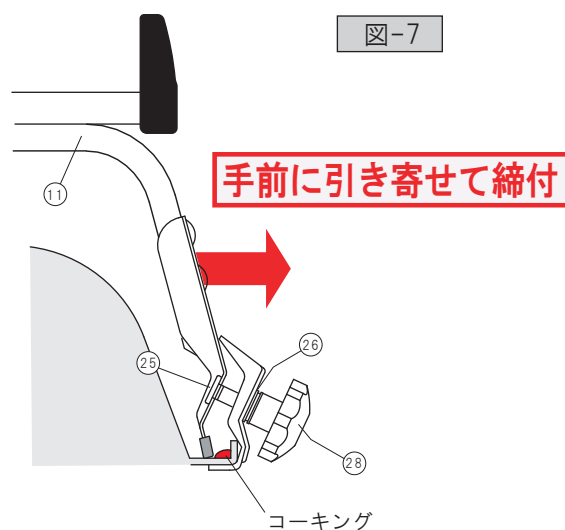
※解説イラストは「SA-39/標準ボディ・標準ルーフ」用で記載しております。  
 「SA-38/ワイドボディ・ミドルルーフ」も同様に取付けを行ってください。

△注意：キャリアを屋根に載せる際は必ず「4人以上」でゆっくりとキズをつけないように慎重に行ってください



7. 「組立て方法1」で一度取外してある⑬アウタークランプ(パッキン付)を雨ドイにかませ、⑳平座金M8、㉑バネ座金M8、㉒平座金M8、㉓締付ノブの順でしっかりと締付けます。締付けの際は⑫インナークランプを手前に引き寄せながら締付けを行い、8か所均等に締付けを行ってください。〔図-7〕  
 ※手前に引き寄せることによって⑰脚ステアに「ハリ」がでるルーフキャリアの剛性が増します。

△注意 雨ドイの曲げ内側にコーキングがあり、大きく手前に引き寄せる事が出来ない場合もありますが、可能な限り、手前に引き寄せて締付けを行ってください。

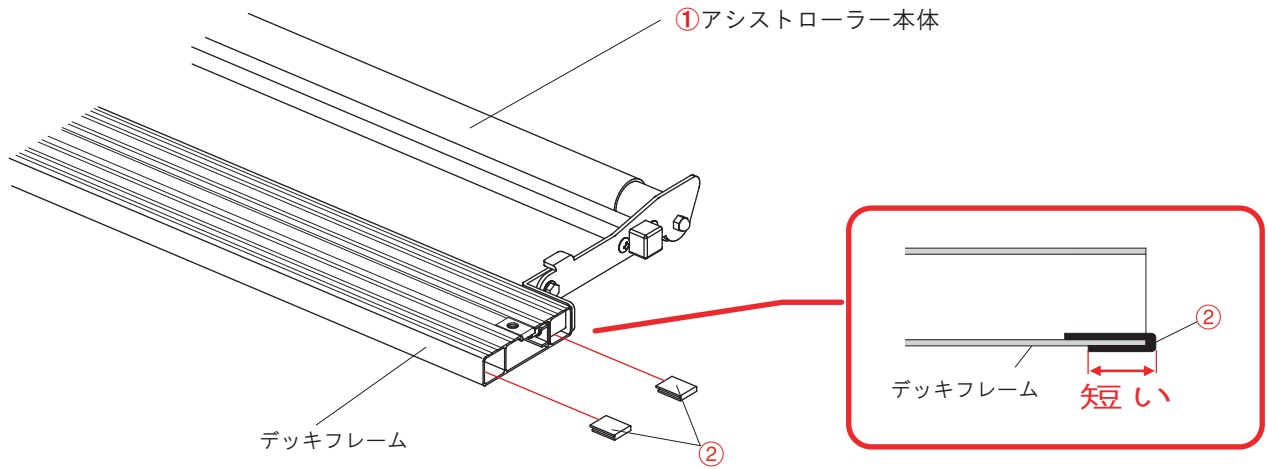


8. △警告 ・取付け終了後、キャリアを前後左右に揺すりガタツキが無いことを確認してください。  
 ガタツキがある場合は使用せず再度取付けをやり直してください。  
 ・キャリアを取付けた初期段階では初期ユルミは必ず発生します。しばらくの期間は締付部(㉓締付ノブ)の増し締めを習慣に行ってください。(SA-38・39/取扱い説明書/取扱い上の注意 参照)

## SA-B10と同時に組立てする場合①

1. ①アシストローラー本体のデッキフレーム両端下面に②ゴムパッキンをはめます。この時、②ゴムパッキンはベラの短い方になるようにしてください。〔図-1〕

図-1

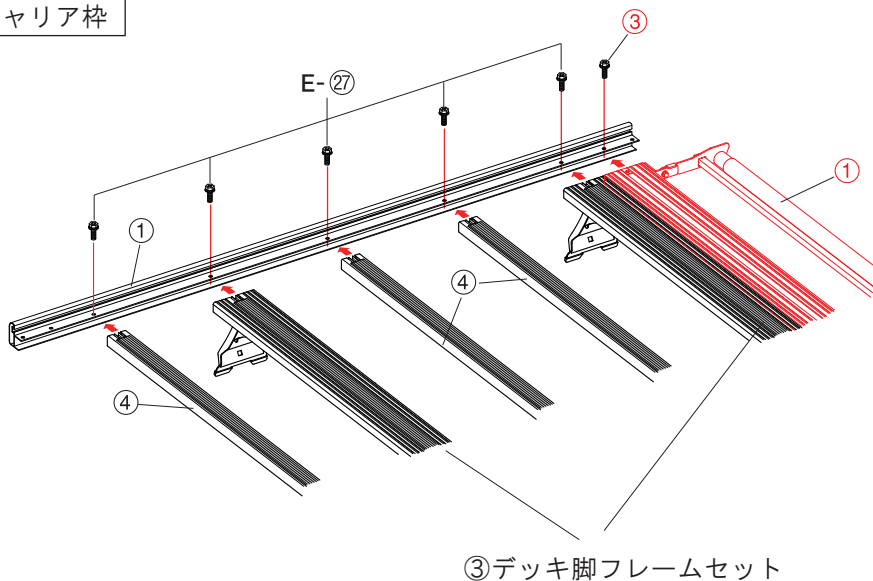


2. 【後用キャリア枠】を組立てます。  
【前用キャリア枠】同様に①サイドフレームに③デッキ脚フレームセットと④荷受けラバーフレーム、①アシストローラー本体を差し込み、⑳六角ボルトセットM6と㉑六角ボルトセットM6にて組付けます。〔図-2〕

△注意 ③デッキ脚フレームセット、①アシストローラー本体に組付けた、②㉑ゴムパッキンは異音防止効果がある為、必ず組付けた状態で①サイドフレームに差し込んでください。硬くて差し込み難い場合は②㉑ゴムパッキンと①サイドフレームに中性洗剤を塗ると差し込みやすくなります。

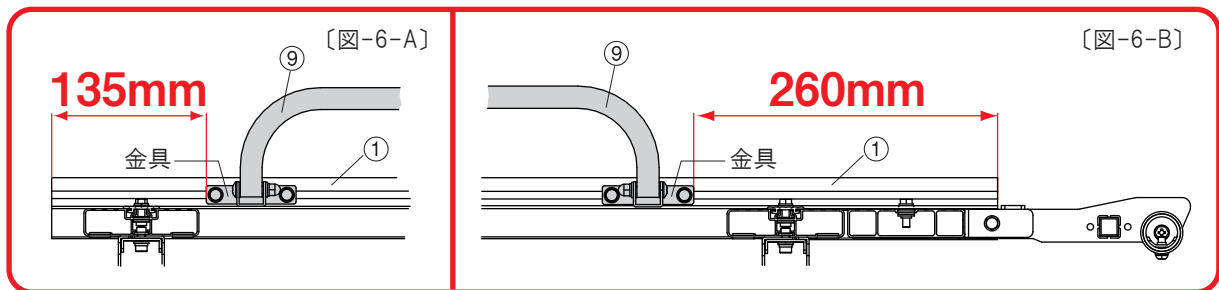
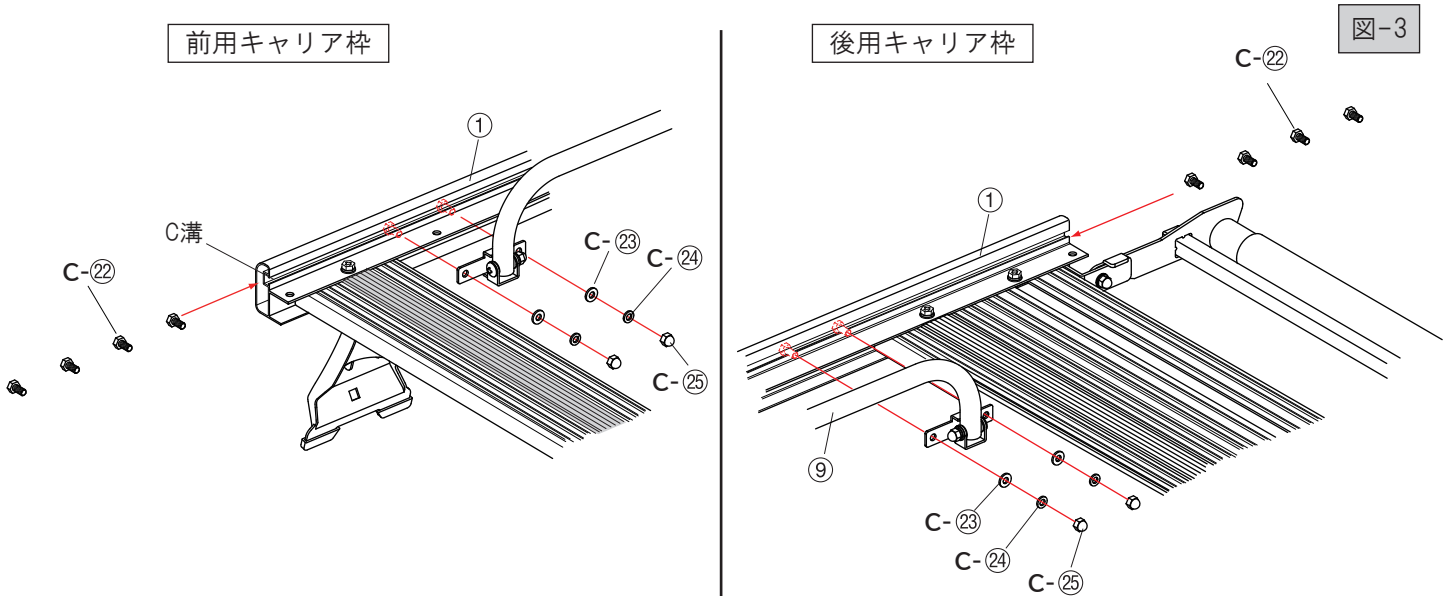
後用キャリア枠

図-2

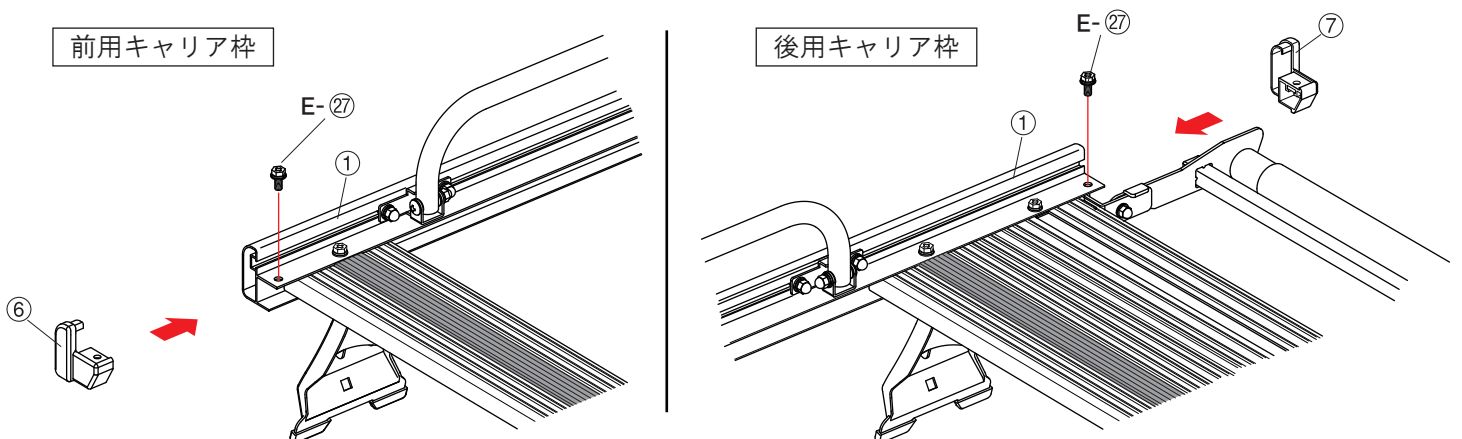


## SA-B10と同時に組立てする場合②

3. 【⑨サイド可倒パイプセット】を①サイドフレームに4ヶ所組付けます。〔図-3〕
- ①サイドフレーム上部のC溝に②六角ボルトM6を前方及び後方に片側4ヶづつ入れ、ボルトの先端を⑨サイド可倒パイプセットの金具の丸穴に通し、③平座金M6、④バネ座金M6、⑤袋ナットM6にて固定します。この時、
- ・【前用キャリア枠】の⑨サイド可倒パイプセットの位置は①サイドフレームの端から「135mm」の所にくるように金具の端を合わせてください。〔図-6-A〕
  - ・【後用キャリア枠】の⑨サイド可倒パイプセットの位置は①サイドフレームの端から「260mm」の所にくるように金具の端を合わせてください。〔図-6-B〕



4. 【前・後用キャリア枠】の①サイドフレームの先端及び後端に【⑥⑦先端キャップR/L】を差し込み、⑦六角ボルトセットM6にて固定します。(前後各2ヶ所)〔図-4〕

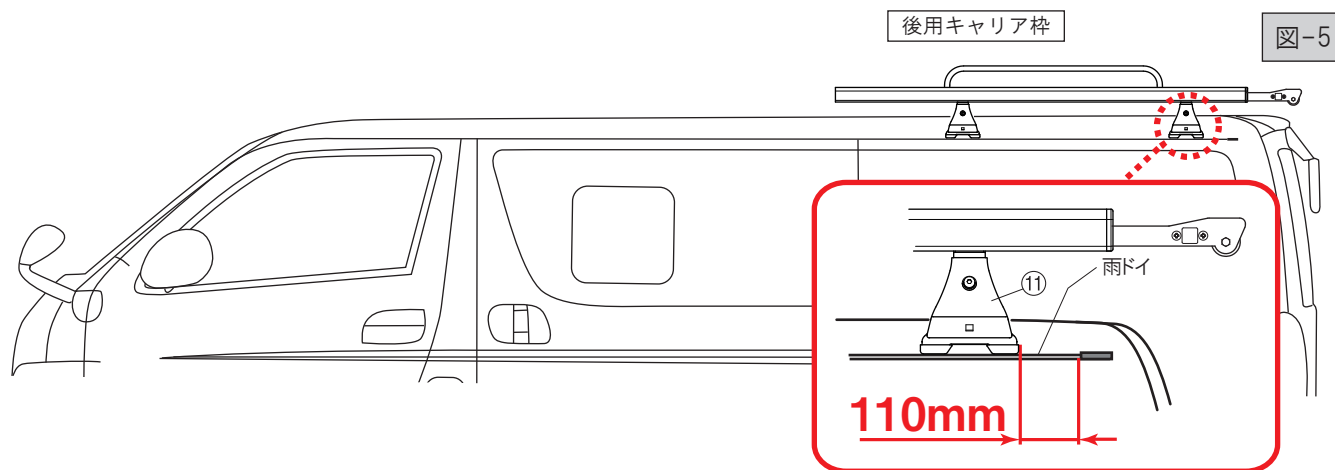




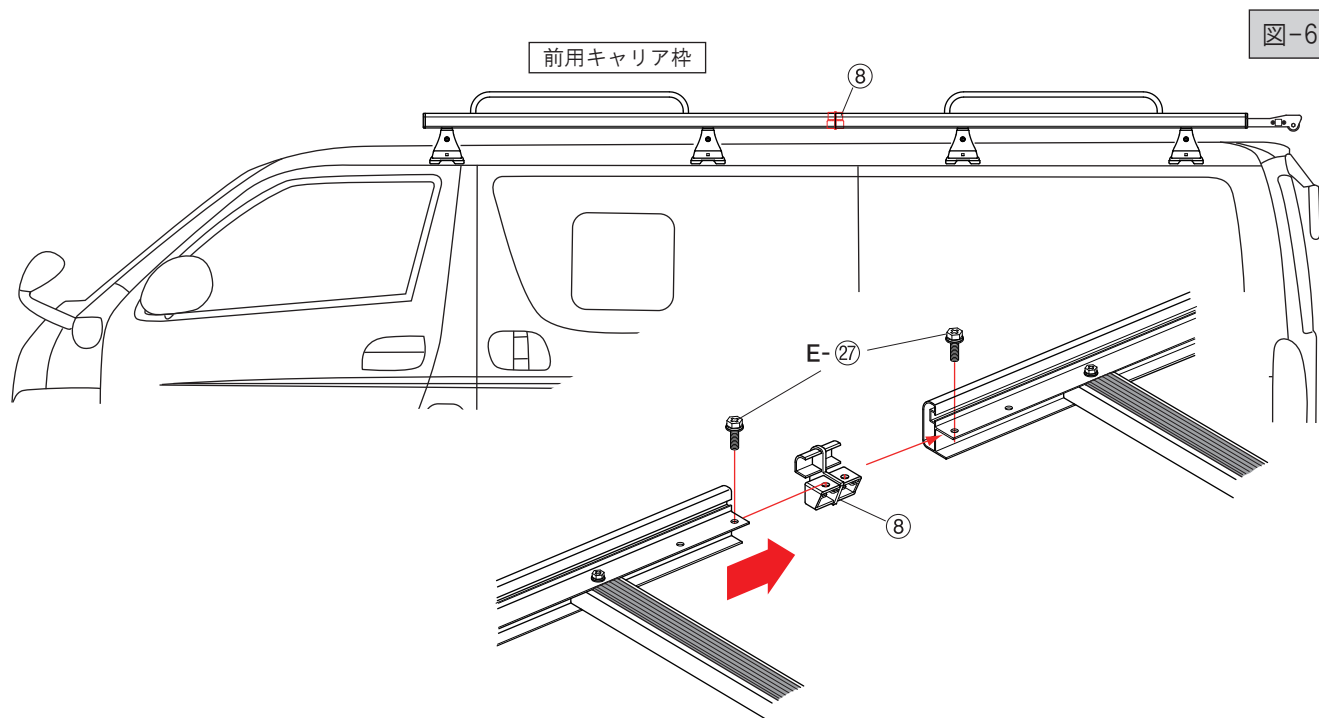
## SA-B10と同時に組立てる場合③

5. 「2.3.4.」で組立てた「後用キャリア枠」を車両後方の雨ドイに載せ、雨ドイの後端より前方へ**110mm**のところに⑪インナークランプの端がくるように調整を行います〔図-5〕

△注意：キャリアを屋根に載せる際は必ず「4人以上」でゆっくりとキズをつけないように慎重に行ってください



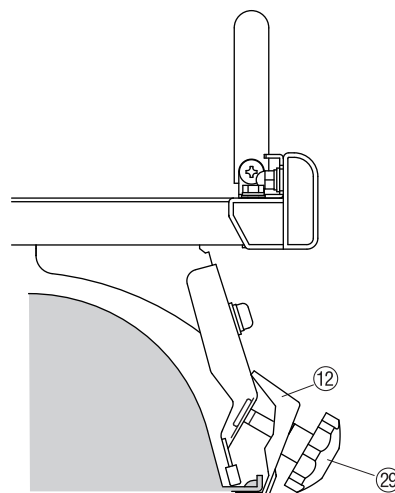
6. 【後用キャリア枠】の位置を維持した状態で【前用キャリア枠】を車両前方から雨ドイに載せ、⑧中間ジョイントで【後用キャリア枠】と連結させて、⑳六角ボルトセットM6で固定します。〔図-6〕



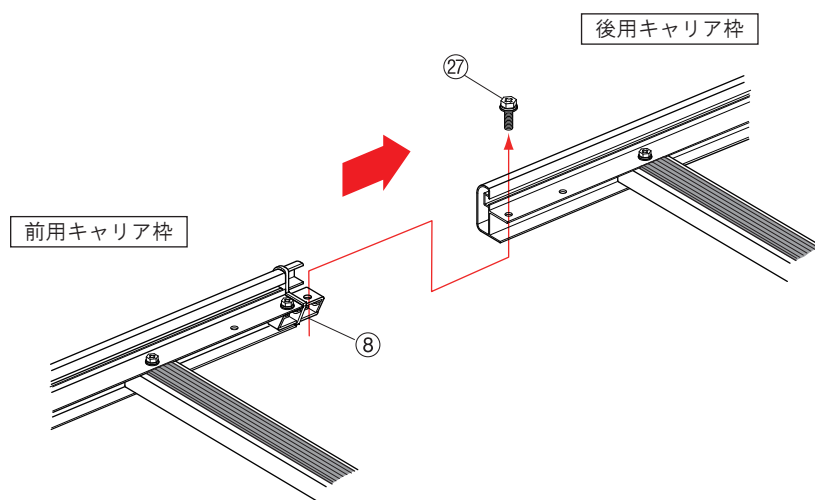
以降は「SA-B10／取扱い説明書／取付け方法②(P5)」の手順に沿って取付けを行ってください。

## SA-B10取付け後にAR-01を取付ける場合①

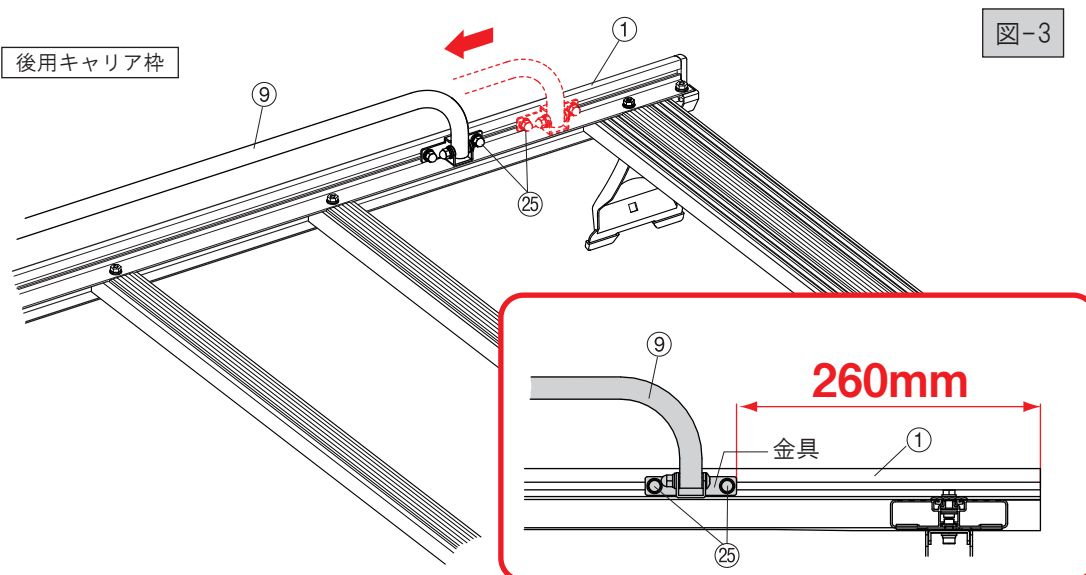
1. キャリアに締付けてある全ての⑳締付ノブ(8か所)をゆるめ、  
㉑アウタークランプを一度取外しておきます。〔図-1〕



2. 【前用キャリア枠】と【後用キャリア枠】を連結している、⑧中間ジョイントの【後用キャリア枠】側の  
㉑六角ボルトセットM6を取外します。〔図-2〕



3. 【後用キャリア枠】のみ一度車両からゆっくり下します。①サイドフレームに組付けてある⑨サイド可倒パイプ  
セットの㉑袋ナットM6をゆるめて、①サイドフレームの後端から**260mm**の位置まで移動させて、再度㉑袋ナット  
M6を締付けます。〔左右〕〔図-3〕



## SA-B10取付け後にAR-01を取付ける場合②

4. どちらか片側の①サイドフレームに組付けてある②⑦六角ボルトセットM6を全てを外し、①サイドフレームを一度取り外してください。そして、最後部に組付けてある「③デッキ脚フレームセット」を、一つ手前の丸穴へ移動させます。〔図-4〕

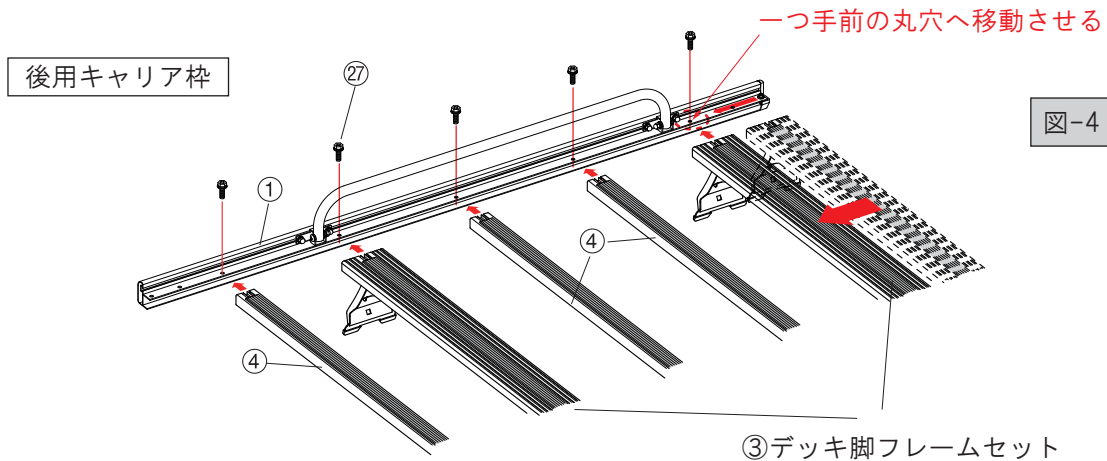


図-4

5. ①アシストローラー本体のデッキフレーム両端下面に②ゴムパッキンをはめます。この時、②ゴムパッキンはベラの短い方が下になるようにしてください。〔図-5〕

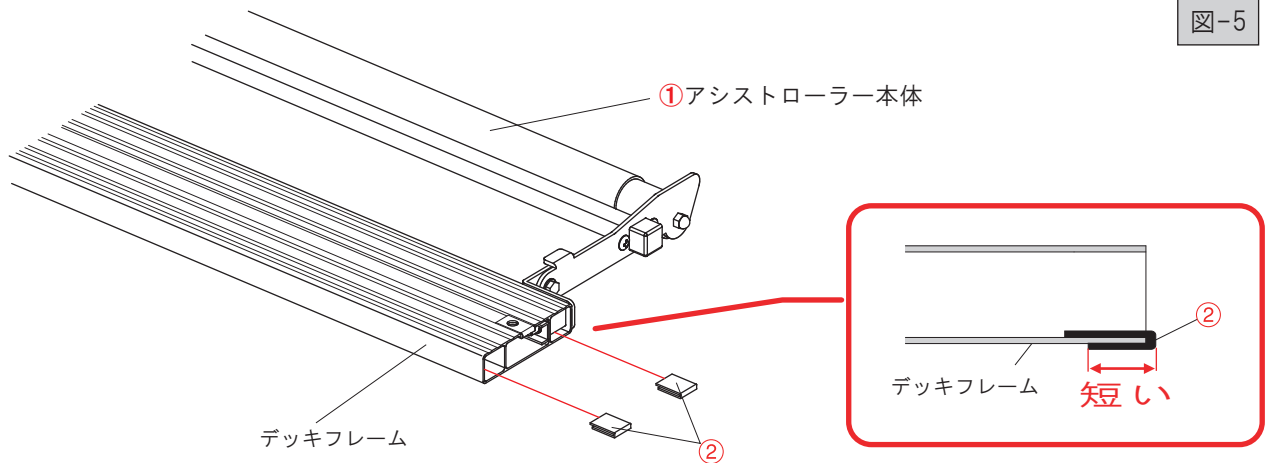


図-5

6. 【後用キャリア枠】の①サイドフレームの最後部の丸穴に、①アシストローラー本体を差し込み、②⑦六角ボルトセットM6と③六角ボルトセットM6にて再度①サイドフレームに組付けます。〔図-6〕

△注意 ③デッキ脚フレームセット、①アシストローラー本体に組付けた、②⑧ゴムパッキンは異音防止効果がある為、必ず組付けた状態で①サイドフレームに差込んでください。硬くて差込み難い場合は②⑧ゴムパッキンと①サイドフレームに中性洗剤を塗ると差込みやすくなります。

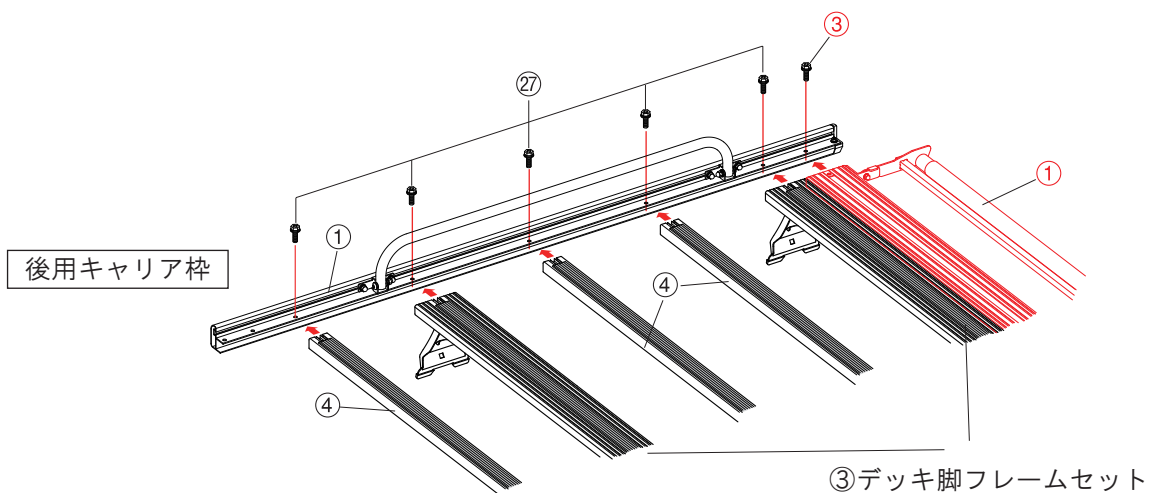
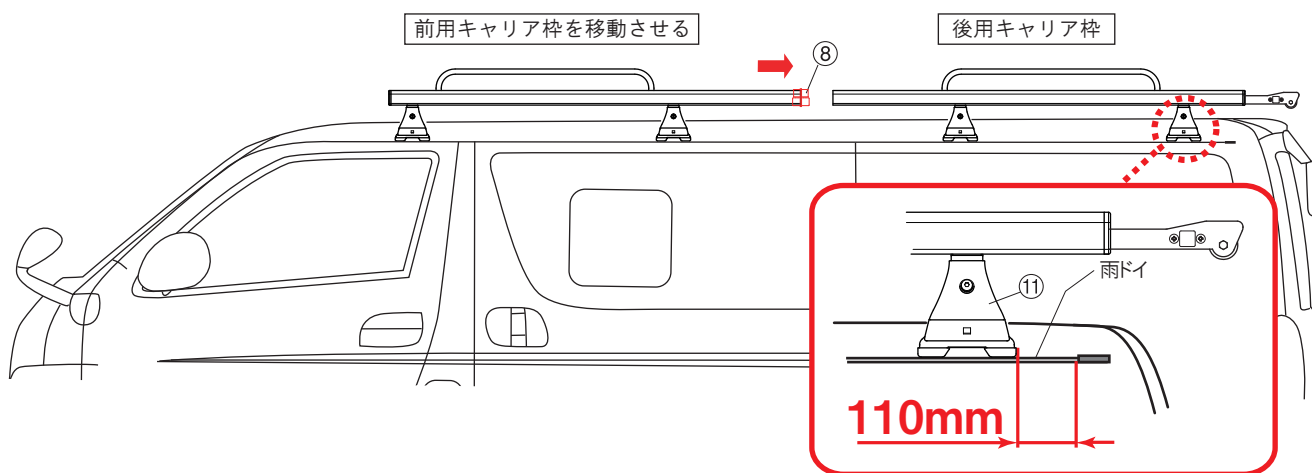


図-6

## SA-B10取付け後にAR-01を取付ける場合③

7. 【後用キャリア枠】を再度車両後方の雨ドイに載せ、雨ドイの後端より前方へ**110mm**のところに⑪インナークランプの端がくるように調整を行います〔図-7〕  
 この時、「後用キャリア枠」は初めに取付けてあった位置より、**110mm**「後」に移動しております。  
 【前用キャリア枠】を、**110mm**「後」に移動させて、⑧中間ジョイントにて【後用キャリア枠】と繋ぎ合わせ、  
 ⑳六角ボルトセットM6で固定します。

図-7

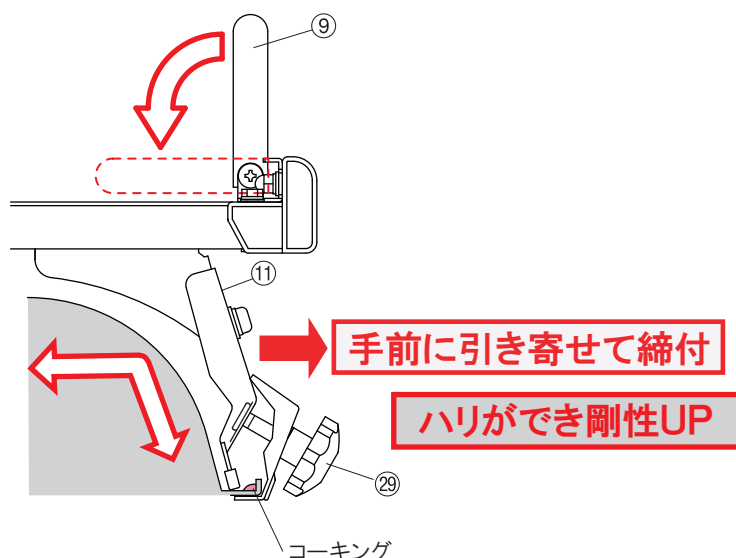


8. 「1」で一度取外してある⑫アウタークランプを再度、雨ドイにかませ、⑬平座金M8、⑭バネ座金M8、⑮平座金M8、  
 ⑯締付ノブの順でしっかりと締付けます。締付けの際は⑪インナークランプを手前に引き寄せながら締付けを行い、  
 8か所均等に締付を行ってください。〔図-8〕

※手前に引き寄せることによって脚部に「ハリ」ができキャリアの剛性が増します。

△注意 雨ドイの曲げ内側にコーキングがあり、大きく手前に引き寄せる事が出来ない場合もありますが、  
 可能な限り、手前に引き寄せて締付を行ってください。

図-8



9. ・取付け終了後、キャリアを前後左右に揺すりガタツキが無いことを確認してください。  
 ガタツキがある場合は使用せず再度取付けをやり直してください。  
 ・キャリアを取付けた初期段階では初期ユルミは必ず発生します。しばらくの期間は締付部(⑯締付ノブ)  
 の増し締めを習慣に行ってください。(裏面「取扱い上の注意」参照)  
 ・キャリアに無積載時には⑨サイド可倒パイプは倒した状態にしておくことをお勧めします。〔図-8〕

△注意-⑨サイド可倒パイプを立てた状態や、積載物を載せた状態では2.1メートルを超える為、  
 キャリア破損の原因になります。

# シグナルマークについて

シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で必ず記載の注意事項を守ってください。

- ⚠ **警告** - 取扱いを誤った場合に、**死亡・重傷の危険が発生する可能性があります。**
- ⚠ **注意** - 取扱いを誤った場合に、**軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。**

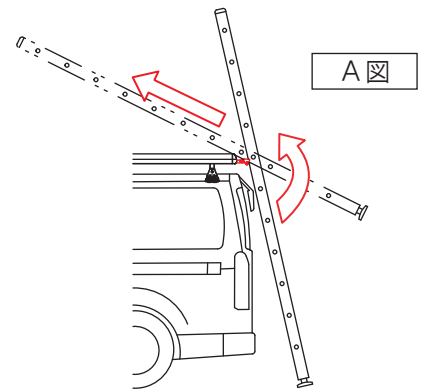
## ご使用前に

- ⚠ **警告** 本製品は、SA-38・39/SA-B10専用のオプションパーツとなります。他の品番キャリア及び車両には取付けないでください。
- ⚠ **警告** アシストローラー(AR-01)とハシゴ(AK-31.33)の同時取付けはできません。ハシゴがバックドア開閉時に干渉します。
- ⚠ **警告** 部品不足での使用は絶対に行わないでください。
- ⚠ **警告** リアアンダーミラー装着車【推奨】未装着の場合は、リアワイパーの付根付近に当たりながらローラーが可動するため、リアワイパーを損傷する恐れがあります。

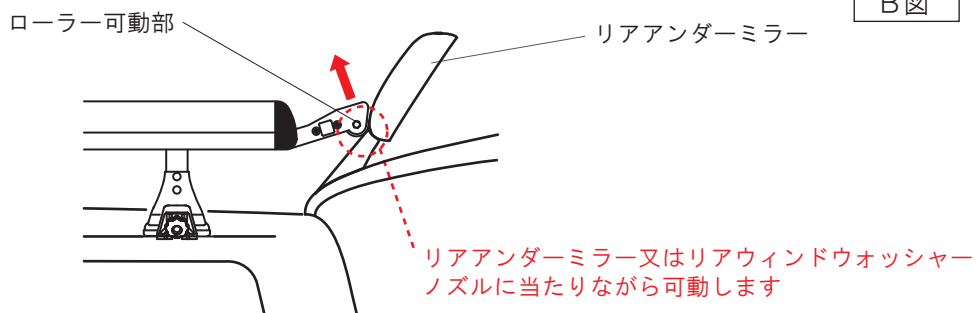
## 商品特長

**特長1** AR-01(アシストローラー)を装着する事により、後方からの長尺ハシゴや脚立の荷上げ作業をバックドアに干渉すること無くキャリアまでアシストします。  
(注)長尺ハシゴや脚立をローラー部に当てる際はリアアンダーミラーを避けた位置で当ててください。

**特長2** ローラー部の回転作用により、キャリア荷台中央付近まで簡単に長尺ハシゴや脚立を誘導します。



**特長3** バックドア開閉に連動してローラー部も上部に可動する為、リアアンダーミラー又はリアウィンドウォッシャーノズルに負担をかけることはありません。  
(注)バックドアのリアアンダーミラー又はリアウィンドウォッシャーノズルに当たりながら上部に可動するためキャリア積載物がローラー部まで達していない状態に限ります。【A図】



## 取扱い上の注意

- ⚠ **注意** 長尺ハシゴや脚立をローラー部に当てる際は、ゆっくりと衝撃がかからないように当ててください。  
→強い衝撃がかかることによりアシストローラーの変形や破損の原因になります。
- ⚠ **注意** ローラーに荷物積載時は、バックドアを開けることが出来ません。リアアンダーミラーが破損致します。  
→ローラー部まで積載物が達している状態ではその重みでローラー部の可動機能が停止してバックドアが全開しなくなります。